

函館地域における海藻を活用した体験観光並びに 新商品開発に対する中間支援活動



平成27年2月23日

道南食と観光クラスター型6次産業化推進協議会

1. 事業実施地域の課題・事業の背景

◆ 地域の概要

- 函館地域 水産海洋産業の集積
- ガゴメ昆布等の海藻を利用した商品開発が盛ん

◆ 課題

- 急速な過疎化・高齢
 - ➡ 生産年齢人口の急激な減少
 - 特に函館市は2014年過疎地域に指定
- 来年の新幹線開業
 - 観光客を呼込める地域特産物を活用した商品開発が急務

◆ 事業の背景

- 地域特産物を活用した商品開発(体験観光・関連ギフトセット)
- 地域資源の消費拡大・地域産業の育成



2. 地域づくり活動支援体制の構成

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

- 道南食と観光クラスター型6次産業化推進
道南地域の農水産物や観光資源を融合した新たな商品開発やビジネスの創出を促進



地域資源の消費拡大と雇用創出に寄与

構成主体	役割(中間支援の内容)
(公財)函館地域産業振興財団	各取組の総合調整、商品開発のアドバイス
北洋銀行函館中央支店	販路開拓、商品開発の専門家等の紹介
北海道大学大学院水産科学研究院	体験ツアーの調整・セミナー講師派遣、バイヤー紹介
北海道渡島総合振興局	商談会・展示会への出展支援、商品開発のアドバイス

3. 担い手の概要



・函館がごめ連合

がごめ昆布商品の開発販売業者を中心に39社、
がごめ昆布の地域ブランド化・販売促進、アンテナショップねばねば本舗を運営

・フードカン

道南固有の地域農水産物を活用した商品のアンテナショップを運営



4 事業概要

地域特産商品の売り上げ増加等

地域産業活性化による地域づくり

取組

取組1



海藻活用セミナー開催支援

観光業界関係者に海藻の魅力を伝え、積極的な活用を促す。



観光業関係者に海藻の魅力を伝え、6次産業化展開イベントへの参加企業を増やす。

取組2・3



海藻を活用した新商品開発・販路開拓支援
魅力的な新商品開発や付加価値創造・販路開拓を可能にする。

6次産業化事業の広報及びプロモーション支援
地域特産物の良さを周知するとともに事業者はそれらを活用した新商品の広報ノウハウを構築する。



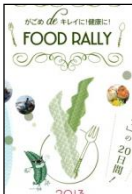
6次産業化展開イベントの広報・PRを道南圏内外に向けて発信する。

取組4・5・6



函館の朝食に海藻を月間イベント支援

新しい海藻料理を創作するためのノウハウを構築する。観光客に海藻料理の豊かさを知って頂くとともに、観光客を通じて広く全国に発信する。



ねばねばフードラリー開催支援

イベントを周知するとともにイベントに参加して地域住民にがごめ料理の可能性を知り・楽しんでいただき、がごめの消費拡大につなげる。

海藻収穫・加工体験ツアー

1次産業の現場と観光客等を結びつけた新たな体験観光の可能性を探り、6次産業化へのノウハウを構築する。

活動団体



函館がごめ連合による講演
試食会等の運営



地域特産品を活用した
魅力的な和食商品の試
作開発およびテスト販売



市内ホテルとの調整
キャラクターを用いた広報
イベントの運営

支援団体



会場、講演会各種調整



料理専門家による調理指導の調整



安井教授、宮下教授による講演



商品開発のアドバイス



商品デザイナーの紹介
各バイヤーの紹介
海外展開商品のアドバイス



各バイヤー・商談会の紹介
市町との連携支援



市内ホテルとの調整
イベントの全体調整
広報のアドバイス



市内ホテルとの調整
体験イベントの調整
広報のアドバイス

次年度以降

27年度

新幹線開業
地域・品目拡大を支援

28年度

道南全体に地域・品目拡大を支援

5. 1. 取組1の概要および成果と課題

取組1：海藻活用セミナー開催支援

◎取組の概要

観光関連産業の経営者の方々を対象に観光資源としての「海藻」の活用促進に向けたフォーラムと試食会の開催(7月2日)を支援。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

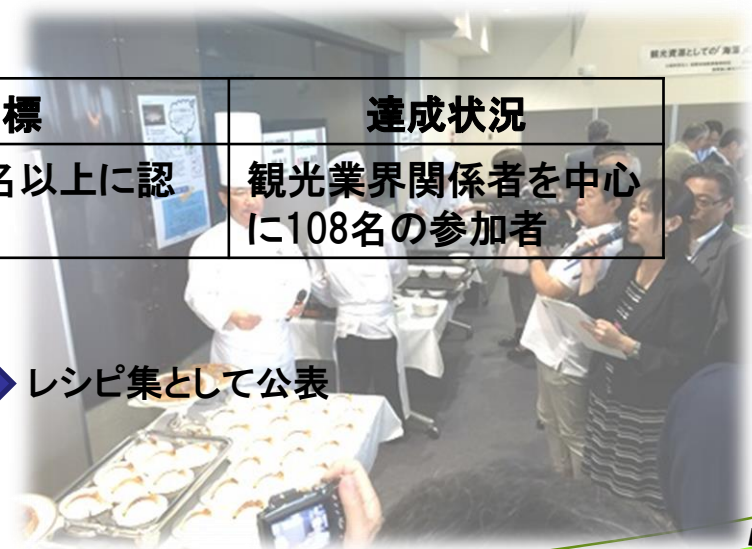
構成主体	役割(中間支援の内容)
北海道大学	安井教授、宮下教授による講演
北洋銀行	料理専門家による調理指導の調整支援
函館地域産業振興財団	会場および講演会の調整支援

◎成果目標

成果目標	現状	目標	達成状況
観光関連産業関係者の観光資源としての「海藻」の認知度を高める	認知度低い	参加者100名以上に認知	観光業界関係者を中心に108名の参加者

◎効果・課題

- ・3名の講演と10名の調理人によるガゴメ料理の試食会実施 ➡ レシピ集として公表
- ・ガゴメ昆布の素晴らしさの認知度を高められた。 目標達成
- ・継続して実施することが重要 ➡ 経費の調達・参加費で運営



観光資源としての「海藻」の活用促進に向けたフォーラム

日本経済新聞

道南の海藻 ブランドに 新たな用途も開発

道南沿岸で採れる海藻を、地元の特産品や新たな需要開拓に活用する取り組みが、道庁で発表されている。

函館地域産業振興財団（函館市）などは道庁市内で、学術水産科学研究院の宮下和夫教授が海藻の機能性をテーマにした講演・試食会を開催した。津軽海産品が世界で高い評価を受けていると話し、

かに、海藻を地域ブランドに育成する。

函館市や北洋銀行函館支店などには、「観光」効果がある」と指摘。製品開発の有無を訴えた。

後半は近年、抗がん作用などが期待される成分が注目を集めている。カニメシ布を使用

特に塩辛、アガモクなどの商品は「赤い色素のフコキサンチンに腸がんを減らす効果がある」と指摘。製品開発の有無を訴えた。

後半は近年、抗がん作用などが期待される成分が注目を集めている。カニメシ布を使用



講演



試食会



豊富な海藻
観光資源に
活用促進へフォーラム

5. 2. 取組2の概要および成果と課題

取組2：海藻を活用した新商品開発・販路開拓支援

◎各取組の概要

魅力的な新商品を開発するためにバイヤーやデザイナーによるアドバイスの支援を行った。また、試作品のテスト販売などに合わせてマーケティング調査を行い、販路開拓ノウハウを構築するための支援を行った。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
北海道大学	開発商品のアドバイス
北洋銀行	商品デザイナー・バイヤーの紹介、マーケティング調査支援
渡島総合振興局	商談会・バイヤーの紹介調整・市町との連携支援
函館地域産業振興財団	商談会・展示会への出展マーケティング調査支援、商品開発のアドバイス

◎成果目標

成果目標	現状	目標	達成状況
ギフト商品の開発	海藻を用いたオリジナル商品がない	売上200万円/年可能なギフト商品開発	がごめギフト商品を開発 テスト販売で3万円/2日

◎効果・課題

- ・専門家のアドバイスにより新商品開発コンセプト立案手法を習得。
- ・「がごめしゃぶしゃぶギフト」を開発、さらにテスト販売(1月末)を通じて新商品の売上げ増加に道筋。
- ・継続した新商品の開発が課題。

新商品開発・販路開拓

販路開拓

新商品開発のためのマーケット調査



札幌東急百貨店の催事場



仙台 どさんこプラザ



新商品開発

ギフト商品

がごめしゃぶしゃぶ



5. 3. 取組3の概要および成果と課題

取組3:6次産業化事業の広報及びプロモーション支援

◎各取組の概要

ポスター、チラシ、情報冊子、ホームページなどにより地域特産物の良さを周知する広報支援を行うとともに、事業者においては効果的なPR手法のノウハウを構築した。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
北洋銀行	バイヤー等へのプロモーション支援
渡島総合振興局	バイヤー等へのプロモーション支援
函館地域産業振興財団	ポスター、チラシ、情報冊子、ホームページなどにより地域特産物の良さを周知

◎成果目標

成果目標	現状	目標	達成状況
売上増加	認知度低い	認知度向上し売上増	地域海藻商品の売上増加

◎効果・課題

- ・ 効果的なPR方法の検討実施。ポスター、ホームページの作成。
- ・ 統一ロゴの採用等、効果的PR方法のノウハウ取得。
- ・ 継続のための資金調達。

5. 4. 取組4の概要および成果と課題

取組4: 「函館の朝食に海藻を」月間イベント支援

◎各取組の概要

事業者が新しい海藻料理を創作するためのノウハウを構築する。観光客に海藻料理の豊かさを知って頂くとともに、観光客を通じて広く全国に発信。

函館国際ホテル・ロワジールホテル函館で開催(11月29日～12月26日)



◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
北海道大学	ホテル・料理専門家の紹介・調整
函館地域産業振興財団	ホテル・料理専門家の紹介・調整



◎成果目標

成果目標	現状	目標	達成状況
売上増加	観光客へのPR不足	海藻料理を観光客へ広く発信し、地域海藻商品の売上増加	地域海藻商品の売上増加

◎効果・課題

- ・新しい海藻料理を宿泊客(観光客)に広く発信。
- ・函館国際ホテル・ロワジールホテル函館ではイベント終了後も好評につき継続実施。
- ・参加ホテルの誘引。



5. 5. 取組5の概要および成果と課題

取組5: がごめ料理を食べ歩く「ねばねばフードラリー」開催支援

◎各取組の概要

ねばねばフードラリーを周知するとともにイベントに参加して地域住民にがごめ料理の可能性を知り・楽しんでいただき、がごめの消費拡大につなげる。
今年度は「がごメニュー食べ歩き」として開催(11月29日～12月26日)。



◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
北海道大学	飲食店の紹介・調整
函館地域産業振興財団	飲食店の紹介・調整、ポスターチラシデザイン指導

◎成果目標

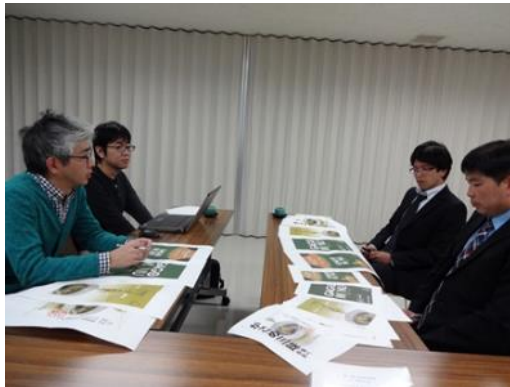
成果目標	現状	目標	達成状況
売上増加	観光客へのPR不足	がごめ昆布を使った料理を観光客・地域住民へ広く発信し、地域海藻商品の売上増加	地域海藻商品の売上増加

◎効果・課題

- ・ ラリー参加飲食店13店に130名が訪れ、がごめ昆布料理を広く発信
- ・ 参加飲食店の大半は次年度の「がごメニュー食べ歩き」継続を希望。
- ・ 参加者のさらなる増加



がごメニュー食べ歩き(ねばねばフードラリー)



イベントのポスターに関するデザイン指導

29 道南 2014年(平成26年)11月29日(土曜日)

「がごめ料理」食べ歩こう

ギョーザ、うどん、オムレツ

きょうからスタンプラリー 函館

函館特産・ガゴメニューの普及に取り組み企業などによる「函館がごめ連合」は先日から、ガゴメニュー料理提供の函館市内飲食店を巡るスタンプラリー「がごメニュー食べ歩き」を実施する。ラリーには、JR函館駅前や五稜郭周辺の飲食店、ホテル内レストランなど計13店が参加。函館のほか家(大門横丁)の「がごめ昆布きょうろ」、さき屋(梁川町)の「がごめ冷やかけうどん」など、オリジナル料理を食べ歩き店以上のスタンプを集めると、抽選でガゴ加工品などの詰め合わせが当たる。12月26日まで。

同連合は「素材を生かした料理を味わってもらい、観光客や市民に特産のガゴをPRしたい」としている。問い合わせは同連合01338・27・4777へ。

(村田泉)

スタンプラリー実施は昨年続きの回目。今回から新たに加わったロワシールホテル(金松町)と函館国際ホテル(大手町)はラリー期間中、「函館の朝食に海産を」と題した共通フェアを行い、朝食メニューで、ガゴ入りの和風オムレツや、さけ茶漬けを提供。宿泊客以外も食べることができ。

「がごめ料理」食べ歩きのスタンプラリーをPRするポスター

がごメニュー食べ歩き 11.29 - 12.26

スタンプを集めてさらうれしい特典があります!

スタンプ3個以上でプレゼント (抽選で10名様)

<p>函館駅前・大門地区</p> <p>1 ねばねば本舗 がごめ料理 120名以上 150円</p> <p>2 ever green がごめバスラ 700円</p> <p>3 函館いか家(大門店) がごめ餃子 450円</p> <p>4 根ばっけ 根ばっけオムレツ 1,200円</p> <p>5 雑家 雑家がごめ 850円</p>	<p>五稜郭・本町地区</p> <p>6 味工房 善々半 しゃみゆみゆ 3,200円</p> <p>7 スパゲッパスタリア パスタ 1,150円</p> <p>8 いっせきにちよう がごめ餃子 500円</p> <p>9 逸軒 元祖 元祖 がごめ冷やかけうどん 1,000円</p> <p>10 備後屋 備後屋 1,200円</p>	<p>11 がごめ家 はこたてがごめ 1,000円</p> <p>12 ロワシールホテル ホテル 1,500円</p> <p>13 函館国際ホテル ホテル 1,500円</p> <p>エンリリート エンリリート 1,500円</p>
--	--	--

リーフレット

新聞掲載記事

5. 6. 取組6の概要および成果と課題

取組6: 「見る・知る・作る」海藻収穫・加工体験ツアー支援

◎取組の概要

1次産業の現場と観光客等を結びつけた新たな体験観光の可能性を探るための体験ツアーの開催(9月13日)を支援した。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
北海道大学	体験イベントの調整
北洋銀行	アドバイザーの紹介
函館地域産業振興財団	イベントの全体調整・アドバイス支援

◎成果目標

成果目標	現状	目標	達成状況
次年度開催のノウハウ構築	体験ツアーはじめて	次年度開催のノウハウ構築	ノウハウを構築できた

◎効果・課題

- ・13名の参加者 参加者の満足度は高かった。
- ・ホテル・マスコミ・旅行者からアドバイスをいただき次年度の開催ノウハウ構築。
- ・実現可能なプラン 人数:数名、料金1,000~2,000円、時間:1~1.5時間、
内容:昆布漁のビデオ上映(昆布の歴史から説明)+昆布加工体験+食。

体験ツアー



昆布漁の映像を上映・漁具説明



海藻の収穫見学



おぼろ昆布作り



2014年(平成26年) 9月14日(日)

コンブ漁見学・加工体験

ガトメコンブなどの特産品を観光客等に活用しようと、コンブ漁見学と加工体験をする試験的なツアーが13日、函館市志保町で行われた。旅行動業振興や地域住民の積極性に導き込み、周辺でコンブを引き上げる様子を見るなどして観光メニューとしての可能性を探った。(協賛一報)

試験ツアーで可能性探る

海藻観光メニューに

「新函館新聞」

9月14日(日)

旅行/宮崎新聞社

〒041-8601 函館市志保1-7-7 3F

編 集 部 010-01-9625 010-01-9626

編 修 部 010-01-9627 010-01-9628

配 送 部 010-01-9629 010-01-9630

発 行 部 010-01-9631 010-01-9632

010-01-9633 010-01-9634

010-01-9635 010-01-9636

010-01-9637 010-01-9638

010-01-9639 010-01-9640

010-01-9641 010-01-9642

010-01-9643 010-01-9644

010-01-9645 010-01-9646

010-01-9647 010-01-9648

010-01-9649 010-01-9650

010-01-9651 010-01-9652

010-01-9653 010-01-9654

010-01-9655 010-01-9656

010-01-9657 010-01-9658

010-01-9659 010-01-9660

010-01-9661 010-01-9662

010-01-9663 010-01-9664

010-01-9665 010-01-9666

010-01-9667 010-01-9668

010-01-9669 010-01-9670

010-01-9671 010-01-9672

010-01-9673 010-01-9674

010-01-9675 010-01-9676

010-01-9677 010-01-9678

010-01-9679 010-01-9680

010-01-9681 010-01-9682

010-01-9683 010-01-9684

010-01-9685 010-01-9686

010-01-9687 010-01-9688

010-01-9689 010-01-9690

010-01-9691 010-01-9692

010-01-9693 010-01-9694

010-01-9695 010-01-9696

010-01-9697 010-01-9698

010-01-9699 010-01-9700

010-01-9701 010-01-9702

010-01-9703 010-01-9704

010-01-9705 010-01-9706

010-01-9707 010-01-9708

010-01-9709 010-01-9710

010-01-9711 010-01-9712

010-01-9713 010-01-9714

010-01-9715 010-01-9716

010-01-9717 010-01-9718

010-01-9719 010-01-9720

010-01-9721 010-01-9722

010-01-9723 010-01-9724

010-01-9725 010-01-9726

010-01-9727 010-01-9728

010-01-9729 010-01-9730

010-01-9731 010-01-9732

010-01-9733 010-01-9734

010-01-9735 010-01-9736

010-01-9737 010-01-9738

010-01-9739 010-01-9740

010-01-9741 010-01-9742

010-01-9743 010-01-9744

010-01-9745 010-01-9746

010-01-9747 010-01-9748

010-01-9749 010-01-9750

010-01-9751 010-01-9752

010-01-9753 010-01-9754

010-01-9755 010-01-9756

010-01-9757 010-01-9758

010-01-9759 010-01-9760

010-01-9761 010-01-9762

010-01-9763 010-01-9764

010-01-9765 010-01-9766

010-01-9767 010-01-9768

010-01-9769 010-01-9770

010-01-9771 010-01-9772

010-01-9773 010-01-9774

010-01-9775 010-01-9776

010-01-9777 010-01-9778

010-01-9779 010-01-9780

010-01-9781 010-01-9782

010-01-9783 010-01-9784

010-01-9785 010-01-9786

010-01-9787 010-01-9788

010-01-9789 010-01-9790

010-01-9791 010-01-9792

010-01-9793 010-01-9794

010-01-9795 010-01-9796

010-01-9797 010-01-9798

010-01-9799 010-01-9800

010-01-9801 010-01-9802

010-01-9803 010-01-9804

010-01-9805 010-01-9806

010-01-9807 010-01-9808

010-01-9809 010-01-9810

010-01-9811 010-01-9812

010-01-9813 010-01-9814

010-01-9815 010-01-9816

010-01-9817 010-01-9818

010-01-9819 010-01-9820

010-01-9821 010-01-9822

010-01-9823 010-01-9824

010-01-9825 010-01-9826

010-01-9827 010-01-9828

010-01-9829 010-01-9830

010-01-9831 010-01-9832

010-01-9833 010-01-9834

010-01-9835 010-01-9836

010-01-9837 010-01-9838

010-01-9839 010-01-9840

010-01-9841 010-01-9842

010-01-9843 010-01-9844

010-01-9845 010-01-9846

010-01-9847 010-01-9848

010-01-9849 010-01-9850

010-01-9851 010-01-9852

010-01-9853 010-01-9854

010-01-9855 010-01-9856

010-01-9857 010-01-9858

010-01-9859 010-01-9860

010-01-9861 010-01-9862

010-01-9863 010-01-9864

010-01-9865 010-01-9866

010-01-9867 010-01-9868

010-01-9869 010-01-9870

010-01-9871 010-01-9872

010-01-9873 010-01-9874

010-01-9875 010-01-9876

010-01-9877 010-01-9878

010-01-9879 010-01-9880

010-01-9881 010-01-9882

010-01-9883 010-01-9884

010-01-9885 010-01-9886

010-01-9887 010-01-9888

010-01-9889 010-01-9890

010-01-9891 010-01-9892

010-01-9893 010-01-9894

010-01-9895 010-01-9896

010-01-9897 010-01-9898

010-01-9899 010-01-9900

010-01-9901 010-01-9902

010-01-9903 010-01-9904

010-01-9905 010-01-9906

010-01-9907 010-01-9908

010-01-9909 010-01-9910

010-01-9911 010-01-9912

010-01-9913 010-01-9914

010-01-9915 010-01-9916

010-01-9917 010-01-9918

010-01-9919 010-01-9920

010-01-9921 010-01-9922

010-01-9923 010-01-9924

010-01-9925 010-01-9926

010-01-9927 010-01-9928

010-01-9929 010-01-9930

010-01-9931 010-01-9932

010-01-9933 010-01-9934

010-01-9935 010-01-9936

010-01-9937 010-01-9938

010-01-9939 010-01-9940

010-01-9941 010-01-9942

010-01-9943 010-01-9944

010-01-9945 010-01-9946

010-01-9947 010-01-9948

010-01-9949 010-01-9950

010-01-9951 010-01-9952

010-01-9953 010-01-9954

010-01-9955 010-01-9956

010-01-9957 010-01-9958

010-01-9959 010-01-9960

010-01-9961 010-01-9962

010-01-9963 010-01-9964

010-01-9965 010-01-9966

010-01-9967 010-01-9968

010-01-9969 010-01-9970

010-01-9971 010-01-9972

010-01-9973 010-01-9974

010-01-9975 010-01-9976

010-01-9977 010-01-9978

010-01-9979 010-01-9980

010-01-9981 010-01-9982

010-01-9983 010-01-9984

010-01-9985 010-01-9986

010-01-9987 010-01-9988

010-01-9989 010-01-9990

010-01-9991 010-01-9992

010-01-9993 010-01-9994

010-01-9995 010-01-9996

010-01-9997 010-01-9998

010-01-9999 010-01-10000

6. 中間支援による課題と対応

マスコミの活用

◎中間支援において特に工夫した点

- ・セミナーやイベントを通じて、関係者を巻き込みプレイヤーを増やす。
- ・マスコミの活用

◎苦勞した点、うまくいかなかった点

- ・担い手のマンパワー不足からくる予定の遅延

◎協議会の成長につながった点

- ・デザインノウハウなど担い手と一緒に習得



統一ロゴの採用

美 食
風 土 記

◎連携することにより達成できたこと、メリット、効果

大学、金融、行政それぞれの専門性・特徴を生かしたバランスの取れた支援

- ・産学官金の連携により、それぞれの専門性を活かした豊富な経験とスキル・人脈・実績を活用
- ・協議会として高い信頼性を得て、マスコミに取り上げられることも多く、情報発信を後押し



7. 事業終了後の予定

◎活動費の確保

- ・自立資金の確保困難→産業支援機関・行政の支援メニューの活用

◎協議会の活動の継続に向けた事業展開

- ・地域資源を活用した商品開発・販路拡大は北海道の重要課題
- ・フード特区、食クラスター等の事業と合わせて活動を継続

◎活動の体制

- ・現体制を維持

◎新たな担い手に対する支援の事業計画

- | | |
|--------|---|
| 平成27年度 | 新幹線開業地域・品目拡大を支援
(七飯町王様しいたけ、りんご、たまふくら大豆等) |
| 平成28年度 | 道南全体に地域・品目拡大を支援
(八雲町服部醸造の味噌・醤油、乙部町ゆり最中等) |
| 平成29年度 | 28年度から継続 |



七飯町王様しいたけ



平成28年3月開業の北海道新幹線